PEACE, HEALTH & HUMAN DEVELOPMENT
公益財団法人 PHD 協会

Peace, Health & Human Development
平和と健康を担う人づくり

2016 年度　事業報告

（2016.4 ～ 2017.3）

- 研修事業　P-2
- ネパール大地震被災者支援　P-8
- 広報・啓発事業　P-10
- 助成及び賞歴　2016 年度決算　P-13

理事長挨拶



理事長　水野雄二

いつも PHD 協会に多大なご支援を賜り感謝申し上げます。ここに 2016 年度事業報告をお届けいたします。2016 年度もミャンマー、ネパール、インドネシアからの研修生を迎え、実りある一年を過ごすことができました。また、多くの皆様との交流の場を通して、私たちの生き方を問う機会が与えられましたことを、3 月 4 日の帰国報告会での研修生の報告を通して改めて感じることができました。

2015 年 4 月にネパール大地震が発生し、元研修生の村や家々が甚大な被害を受けてから、PHD 協会も救援活動を開始し、2016 年度も彼らと共に尽力することができました。この救援活動にも多くのご支援を頂戴し、重ねて感謝申し上げます。ベテラン職員の退職など、多くのチャレンジがありましたが、皆様のお支えにより今後の飛躍につながる一年となりました。PHD 協会の今後の働きに更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。



3 月 4 日　帰国報告会にて研修生に研修修了証を授与

事務局報告

主任主事　坂西卓郎

2016 年度は「土台作りの一年」を掲げ、次の 2 点「1. ネパール救援活動 1st フェーズ終了」、「2. 新職員の育成、及び組織基盤整備」を重点目標として取り組みました。

ネパールの救援活動においては約 1,400 万円のご寄付を救援活動に活用させていただきました（詳細は P.8 ～ 9）。微力ではありますがご支援いただいた皆様のお気持ちを被災地に届けることができたと感じています。また育成、基盤整備につきましても既存事業の安定的な運営、就業規程等の改定など長年の懸案事項を改善することができました。

主軸事業である研修事業はネパール、ミャンマー、インドネシアから研修生を招聘しましたが、初の 3 名全員が女性という年となりました。例年にも増して賑やかな一年となりましたが、研修指導者、ボランティア、支援者の皆様のご協力を得て、各研修生が能力的のみならず精神的にも大きく成長することができました。この場をお借りして皆様のご支援に感謝申し上げます。



ネパール大地震被災地 復旧した簡易水道を前に記念撮影

研　修

（1）第 34 期研修生

インドネシアからのリンダさんは一児の母で夫は出稼ぎで中長期間、村を離れてしまうことが頻繁にあります。そんな中、保健ボランティアや、幼稚園のお手伝いなどしていました。日本では洋裁、保育、保健衛生などを勉強。本人の希望で有機農業研修も複数回設けました。

ネパールのラジャバス村からはスリザナさんが来日。2015 年の大震災で家が倒壊し、テント暮らしを経て、今もなお仮設住宅での生活を余儀なくされています。日本では有機農業、保健衛生をはじめ、防災や応急手当に重点を置き、更に助産研修も実施しました。

ミャンマーのウーインリー村からは村の仕立屋でもあるマーチョさんが来日。村では農業と洋裁業務の合間に村の清掃活動などのボランティアを率先して行っています。日本では保健衛生、洋裁、教育などの研修を実施。更に日本のゴミ処理について学ぶため、ゴミ減量資源化の研修を設けました。

スリザナ・シャハ・タクリさん
（ネパール・20 歳・女性）

推薦団体：SAGUN
研修テーマ：保健衛生、応急手当、保育・就学前・初等教育、農業

4-5 月 兵庫県
　神戸市垂水区／宝田和正さん、てるみさん（滞在）
6 月　西宮市／はらっぱ保育所（保育）
　丹波市／中野宗嗣さん（米・野菜・有機農業）
　豊岡市／寺田まさふみさん（野菜・加工品）
7 月 愛知県
　豊明市／名古屋石田学園星城中学校（応急手当・教育）
　名古屋市／しょうぶ苑（介護）
8 月 兵庫県
　佐用郡佐用町／真柴三幸さん（完熟たい肥・発酵飼料）
　篠山市／丹南健康福祉センター（保健衛生）
9 月 福岡県
　北九州市／しぶや助産院（助産）
　兵庫県
　高砂市／ステップハウス（ハンディキャップガイド）
10 月 愛媛県
　松山市／泉精一さん（養鶏・土着微生物・野菜）
11 月 兵庫県
　三木市／三木市総合保健福祉センター（保健衛生・栄養）


応急処置の練習

リンダ　エルニタさん
（インドネシア・23 歳・女性）

推薦団体：PHD 研修生グループ
研修テーマ：保育・就学前教育、栄養、保健衛生、洋裁

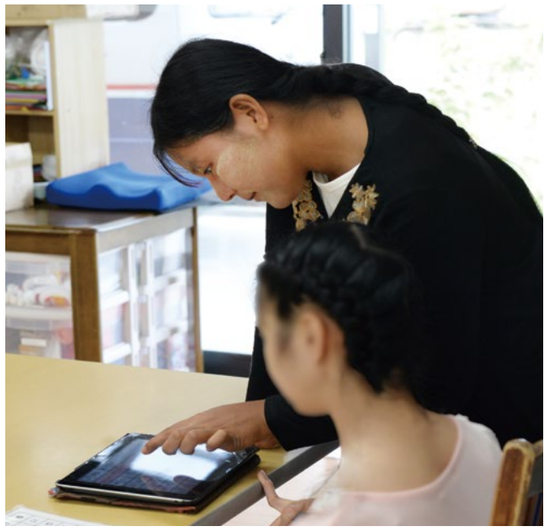
4-5 月 兵庫県
　神戸市垂水区／葛原時寛さん、香織さん（滞在）
6 月　篠山市／西紀南幼稚園（教育）
　篠山市／ささやまこども園（保育）
　丹波市／中野宗嗣さん（米・野菜・有機農業）
7 月　神戸市／高木育代さん（洋裁）
　養父市／たいようこども園（保育）
8 月　西宮市／はらっぱ保育所（栄養）
　加東市／加東市保健センター（保健衛生・健診）
9 月　高砂市／ステップハウス（ハンディキャップガイド）
　京都府
　京都市／あらい農園（野菜・有機農業）
10 月 兵庫県
　神崎郡市川町／牛尾武博さん（野菜・有機農業）
11 月　三木市／三木市総合保健福祉センター（保健衛生・栄養）
12 月　養父市／上垣　敏明さん（養鶏・有機農業）


中野宗嗣さんの畑での研修

ティダチョーさん　（マーチョさん）
（ミャンマー・24 歳・女性）

推薦団体：PHD 研修生グループ
研修テーマ：栄養、保健衛生、洋裁、ゴミ問題、環境問題

4-5 月 兵庫県
　神戸市垂水区／黒野美代子さん（滞在）
6 月　神戸市／のぞみ保育園（保育）
　神戸市／赤坂真砂さん（洋裁）
7 月　豊岡市／寺田まさふみさん（米・野菜・加工品）
　神戸市／友愛幼児園（保育）
　高砂市／ステップハウス（ハンディキャップガイド）
　佐用郡佐用町／真柴三幸さん（完熟たい肥・発酵飼料）
8 月 岐阜県
　高山市／水谷恵子さん（応急手当・医院・洋裁）
9 月 兵庫県
　神戸市／こうべ小学校（教育）
　島根県
　松江市／松江市健康福祉部保健センター（保健衛生）
　隠岐郡西ノ島町／シオンの園（保健衛生）
10 月　高砂市／ステップハウス（ハンディキャップガイド）
11 月　三木市／三木市総合保健福祉センター（保健衛生）


ステップハウスでハンディキャップケアについて学ぶ
（写真提供　神吉　泰彦　様）

◆ 共通研修 ◆

4-5 月 兵庫県
　神戸市中央区／神戸 YMCA 学院専門学校（日本語）
　神戸市中央区／ PHD 協会・日本語ボランティア（日本語）
10 月　神戸市長田区／神戸常盤大学　全 3 回（口腔衛生）
　神戸市西区／なでしこ歯科　全 2 回（口腔衛生）
　神戸市中央区／人と防災未来センター（防災）
　神戸市中央区／杉尾須美子さん（応急手当研修）
　神戸市東灘区・三木市・神戸市中央区／生活協同組合コープこうべ　全 3 回（協同組合）
12 月　神戸市長田区／浜地歯科医院（口腔衛生）

　神戸市灘区／食品公害を追放し安全な食べ物を求める会（消費者組合）
　神戸市中央区／ PHD 協会（住民組織化研修）
大阪府
　大阪市西成区／旅路の里（釜ヶ崎の歴史や現状）
2 月 兵庫県
　洲本市／淡路島モンキーセンター（残留農薬の弊害）
　神戸市西区／こうべ環境未来館（ゴミ減量資源化）
＜敬称略＞


コープこうべ「エコファーム」について学ぶ

◆ 東日本研修旅行 ◆　（11 月 7 日～ 17 日）

愛知県／アーユス東海・想念寺、星城中学校、名古屋中央教会、トヨタ自動車労働組合、小牧幼稚園
岐阜県／日本キリスト教団中濃教会、国際ソロプチミストかかみ野
長野県／日本キリスト教団松本教会、信濃むつみ高等学校
山梨県／山梨英和中学校 YWCA クラブ、山梨 YMCA グループ
東京都／ロータリー米山記念奨学会、全日本自動車産業労働組合総連合会、アーユス仏教国際ネットワーク・勝楽寺、日本労働組合総連合会、外務省民間援助支援室、ミャンマー料理ルビー、ハンガー・フリー・ワールド、ユニセフハウス
神奈川県／地球の木、山崎・谷戸の会、こどもの広場もみの木クラブ
＜敬称略＞


トヨタ自動車労働組合を訪問

◆ 西日本研修旅行 ◆ （1 月 7 日～ 21 日）

鹿児島県／かごしま有機生産組合、だるま保育園、下水流小学校
蕨島小学校、出水民泊プランニング
熊本県／水俣病センター相思社、エコネットみなまた、ほっとはうす、
熊本 YMCA、菊池恵楓園
福岡県／祝町小学校、旭ヶ丘会館、アジアを考える会北九州、北九
州環境ミュージアム
大分県／玖珠美山高等学校
山口県／梅光学院高等学校、岩国みなみワイズメンズクラブ
広島県／広島平和記念資料館、共生庵、三和中学校、三次市立図
書館、みわ保育所、三良坂保育所、みらさか小学校、灰
塚コミュニティセンター
岡山県／赤磐市中央公民館

＜敬称略＞

◆ 兵庫県内研修報告会 ◆

加東市／加東市連合婦人会
西脇市／研修指導者会
豊岡市／但馬 PHD 指導者会 ＜敬称略＞



但馬 PHD 指導者会の皆さんと記念撮影

◆ アクションプラン ◆

個別研修、共通研修を終えた後、34 期生たちは帰国後の村でのアクションプラン（活動計画）を考えました。次の図は研修生たちが作成した出身村の課題分析と活動目的との因果関係を視覚化したものです。

ラジャバス村の問題系図



スリザナさんの 活動計画

「村の健康を守りたい」

ラジャバス村には医療従事者が常駐しておらず、最寄りのクリニックまでは約 2 時間かけて山を歩いて降りなければ辿り着くことができません。怪我や急な発病、そして出産の際に大変な思いをすることが、スリザナさんにとっての村の課題です。時には死産になることもあるそうです。

日本で勉強した保健衛生と口腔衛生を広めて病気の予防を促進する事や、応急手当の手法を村人に伝えて怪我に対応できるようにする事、そして自身が助産師になることで、村の健康を守ります。

タラタジャラン村の問題系図





リンダさんの 活動計画

「安心安全な野菜を作りたい」

リンダさんの出身地域の多くの農家は市場で売るための野菜を栽培する際に農薬を使用するのですが、日本の様に規制や基準があるわけではありません。リンダさんもこれまでは野菜を市場で購入していましたが、日本で「有機農業研修」や「協同組合研修」などを通じて「安心・安全」について考察し、「作り手の顔が見える食材」の大切さに気づくことが出来ました。日本でも 1971 年頃に母乳から農薬が検出されたことがあると知り、大きな衝撃を受けました。村に戻り、幼い子どもを持つ母親たちにも学んだことを共有し、夫と共に有機農業に挑戦します。

マンダレー・スラムの問題系図



ティダチョーさん（マーチョさん）の活動計画

「危険な労働を強いられている子どもたちに洋裁指導を提供」

ミャンマーの古都マンダレーの外れにスラム地域があり、そこで暮らす多くの子どもたちが学校に通えず、児童労働が日常化していることは現地でもあまり知られてはいません。マーチョさんは大阪の釜ヶ崎を訪れ、日雇労働者の方々に会い、彼らが危険で大変な仕事に従事し、厳しい環境での生活を強いられている状況を目の当たりにしました。マンダレーのスラム地域の子どもたちにはより安全な仕事の機会を提供したいと思い、洋裁を教えることにしました。まずは子どもたちが一人で簡単な帽子や鞄を作り、市場で販売できることを目指します。

（2）短期研修生及びゲスト

アフナールさん
エルフィトリ・ユスフさん　夫妻
（インドネシア・54 歳・男性
インドネシア・45 歳・女性
2017 年 3 月 30 日～ 4 月 14 日）

1988 年度インドネシア・アイルバンギスからの第 6 期研修生のアフナールさんと、その配偶者のエルフィトリさんが来日しました。アフナールさんは PHD 研修生修了後、日本語を更に学ぶために神戸市外国語大学に留学。帰国後は大学で日本語を指導、日本との連絡調整にも従事してきました。現在はリアウ州で商売をしています。今回の来日では当時の日本人ボランティア皆さんやホストファミリーと旧交を温めました。



アフナールさん、エルフィトリさん夫妻と当時のホスト大吉さん

◆ 2016 年度 ゲスト ◆



カマル・フィヤルさん
（ネパール・SAGUN 事務局長）

SAGUN は PHD 研修生の出身地域で活動する NGO。PHD と共に 2015 年 4 月発生したネパール大地震の被災地域の被災者支援を行っています。2016 年 10 月には、SAGUN の代表としてカマル氏が来日、ネパール大地震被災者を支援する現地の状況を神戸で報告しました。



10 月 1 日　PHD 主催ネパール大地震報告会

（3）選考・フォローアップ・調査

訪問した 4 ヶ国において、帰国研修生のフォローアップを行いました。また、2016 年度アジア生協協力基金のモニタリングや大地震からの復興状況の視察のためにネパールに出張しました。

35 期生の選考は、ネパール、インドネシア、ミャンマーで実施しました。

訪問国	日　程
ネパール	2016 年 7 月 27 日～ 8 月 5 日
ミャンマー	8 月 22 日～ 8 月 31 日
インドネシア	9 月 10 日～ 9 月 18 日
ネパール	12 月 24 日～ 12 月 28 日
タイ	2017 年 2 月 19 日～ 3 月 1 日



アジア生協協力基金 海外フォローアップの様子（ネパール）



「祝福の牛」プロジェクト　モニタリングの様子（インドネシア）

◆ 35 期研修生の選考と結果 ◆

2017 年度 35 期研修生は、2016 年度から引き続き、ネパール、インドネシア、ミャンマーの 3 カ国から選考いたしました。35 期生ははからずも 34 期生同様に女性が 3 人となりました。彼女たちが無事に来日し、様々な研修を受け、地域の発展に有為な人材となるよう、今後もサポートしていきます。

ネパール・カブレパランチョーク郡

応募者の出身村と人数	タクレ村　ラジャバス村：女性 4 名、男性 4 名	
選考結果		ミスラ・マヤ・タマンさん （18 歳・女性）

インドネシア・西スマトラ州

応募者の出身村と人数	シランジャイ村　タラタジャラン村 ：女性 4 名、男性 1 名	
選考結果		マリア シルヴィアナ デフィさん （28 歳・女性）

ミャンマー・シャン州

応募者の出身村と人数	コンゾン村：女性 2 名、男性 2 名	
選考結果		タンタンミェさん （20 歳・女性）



ミスラさん　自宅台所にて



デフィさん　教師として勤める小学校での授業の様子



タンタンミェさん 家庭訪問　両親と一緒に



選考時のワークショップ（インドネシア）

ネパール大地震被災者支援

2015 年 4 月 25 日、M7.8 の大地震が発生。続く、5 月 12 日 M7.3 の余震が発生、被害が拡大しました。PHD 協会では 2015 年度に続き、2016 年度も被災者支援を実施しました。



地震で家屋が崩壊し、放棄された地区（ガハテ村）

◆復興支援活動◆

マンガルタール地域

1．収入創出のためのヤギ肥育プログラム

被災者の収入創出のためにヤギを貸与しました。対象世帯は村人たちが決めた下記の基準によって選びました。

1. 貧困世帯（年間の食費を賄えない世帯）
2. シングルマザー
3. 高齢者だけの世帯
4. 幼児がいる世帯
5. 障がい者がいる世帯

ヤギ提供実績一覧		
グループの名前	世帯数	提供したヤギの頭数
Chhatrepipal	15	29
Thakle	15	30
Ramche	10	20
Pinthali	8	16
合計	48	95



被災者に提供されたヤギ

2．学校再建プロジェクト

地震により校舎が半壊し、使用不能になったジャナビジャヤ小学校。児童は屋外で授業を強いられてきましたが、PHD 会員のご寄付により 4 教室が再建中です。児童約 200 名の屋内での授業が可能になりました。

- 耐震基準を順守した4教室が完成。
- 子ども達が安全に勉強できる環境が整備され、小学校は次の学期から再開されることになった。
- 国際的な基準をクリアした教室で子ども達はより良い勉強の機会を得ることができる。



建設中の新しい校舎（ジャナビジャヤ小学校）

3．ECD センターを通じた子ども達のサポート

日本の幼稚園にあたる ECD センターにて、就学前児童（3 歳から 5 歳）への教育を提供し、地震後に混乱した地域の教育をサポートしています。

ECD センターを通じて教育を提供した児童の数		
ECD ファシリテーター氏名	ECD センター名	児童数
Prem Maya Tumsing	Salleni ECD center	13
Buddha Kumari Chitaure	Bindhyabashini ECD center	11
Ek Kumari Astani	Kharta Devsthal ECD center	6
Sarita Malla	Gayatri ECD center	6
Rita Rana Magar	Nangsaltar ECD center	10
Manisha Thapa Magar	Bindhyabashini ECD center	10
Hem Kumari Pithakote	Chhatrepipal ECD center	13
Sashi Lama	Mahakali Devi ECD center	7
Sunita Koirala	Mangal Janavijana ECD center	10
Ratnamaya Lama	Piple ECD cente	9
Nanda Kumari Koirala	Brahman Gaoun ECD center	7
Narayani Adhikari	Kattike ECD center	12
Neha Lama	Indrodaya Basic School	9
Dhana Kumari Tamang	Narayansthan ECD center	10
Sita Thakuri	Bhumesthan ECD center	10
	合計	143

4．ピンタリ農業協同組合のサポート

地域の経済的復興を被災した住民みずから推し進めていくために、その担い手の育成をサポートしました。

ピンタリ農業協同組合に対する研修内容			
研修参加者氏名	研修内容	期間	研修機関
Prem Lama	報告書及び申請書作成	5 日	社会活動機構
Bina Tamang	報告書及び申請書作成	5 日	社会活動機構
Mukumaya Lama	報告書及び申請書作成	5 日	社会活動機構



ピンタリ農業協同組合 会合の様子

5．住民主体による生計向上強化を目的とした 5 年間の戦略的な計画作り

PHD 協会が提携する現地カウンターパートナーである NGO「SAGUN」が、地震後の地域復興の土台となる調査とそれに伴う報告書の作成を被災した住民とともに行いました。調査には元 PHD 研修生のムクさん（2014 年度）、カンチさん（2015 年度）が調査員として参加、来年度研修生ミスラさん（2017 年度）も同様に参加しています。

この調査報告書は各種統計や衛生状況、教育、経済、住民組織化、人的資源の現況を網羅したものになっており、今後の復興計画の基礎情報として活用されます。

6．元 PHD 研修生へのトレーニング

2015 年 4 月の地震では多くの元 PHD 研修生が被災しました。彼らは復興活動の中心として活躍しています。その彼らをサポートするためにトレーニングを行いました。

元 PHD 研修生に対するトレーニング内容（2017 年 3 月まで）		
研修内容	研修期間	研修機関
参加型農村調査法トレーニング	8 月 22 日～ 26 日	SWI
就学前幼児教育トレーニング	10 月 1 日～ 3 日	SAGUN
基礎調査トレーニング	11 月 5 日～ 10 日	SAGUN
参加型開発トレーニング	12 月 2 日～ 7 日	SAGUN
ヤギ肥育トレーニング	12 月 29 日～ 31 日	SAGUN
報告書作成トレーニング	3 月 25 日～ 29 日	SWI

ガハテ村及び周辺

7．元研修生助産師ランマヤがんばれ！プロジェクト

帰国後、助産師となった 2012 年度研修生ランマヤ・タマンさんを震災対応の助産師として、被災地でお産や震災に関連する怪我、疾病治療に従事してもらいました。

ランマヤさんは 2016 年度も引き続き、助産師として被災地で医療活動を行っています。

ランマヤさん医療活動詳細（2016 年 6 月～ 2017 年 3 月）		
医療行為名、病名等	患者数	
妊婦健診	812	
出産	92	
産後健診	94	
子宮脱	6	
リングペッサリー交換	11	
リングペッサリー装着	9	
尿道感染	164	
膣出血	28	
月経不順	101	
胸部疾患	11	
骨盤腹膜炎	19	
性感染症	51	
一般疾患新規患者診察	男性 577	女性 911
一般疾患旧患者診察	男性 2411	女性 777
一般患者総数	4676	
妊娠検査（尿検査）	陽性 99	陰性 106
その他の出産関連疾患	43	
VIS 検査（子宮頚がん）	29	

家族計画（避妊）サービス		
研修内容	新	旧
デポ（避妊薬）	62	559
コンドーム	9	44
ピル	30	99
子宮内避妊具（IUCD）	83	509
インプラント	63	1005



薬の飲み方を説明するランマヤさん

広報・啓発

◆ 広報活動 ◆

PHD の活動について幅広く情報発信し、媒体ごとに質の向上をはかりました。会報「PHD LETTER」及び各種印刷物はデザインを変更しました。また、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）Facebook、Instagram の PHD 協会ページを開設しました。

会報・パンフレット等
　PHD LETTER（132，133，134 号）、研修生・活動紹介チラシ、事業報告
SNS
　Facebook、Instagram、Twitter
新聞
　神戸新聞（3 月 5 日）
他団体会報等
　きょうどう 第 1077 号
他団体 HP・メールニュース等
　国際協力マガジン、スタディツアーパスポート、神戸国際協力交流センター、JANIC、JICA Partner、ひょうごボランタリープラザ、市民国際プラザ、関西 NGO 協議会、アーユス仏教国際協力ネットワーク、IDJ 国際協力ジャーナル、日本財団 Canpan、NGO ネットワークジャパン、ボランティアプラットフォーム、ESD ツアープログラム
＜敬称略＞

SNS フォロワー数	
Facebook （いいね）	682
Instagram （フォロワー）	305
Twitter	380

◆ 講演・交流会 ◆

今年度も各地での講演・交流会には、研修生と一緒に出向き、約 4,500 名が PHD の講演・交流会に参加しました。そのうち約 3,300 名の方々を交流会などを通して、PHD 研修生を直接ご紹介することができました。

＜講演・交流先＞
東京都／ JANIC
岐阜県／ PHD 飛騨友の会
京都府／恵光寺、福知山淑徳高等学校、洛北高等学校
大阪府／土佐堀ワイズメンズクラブ、阪神シニアカレッジ、姫松教会、大阪インターアクトクラブ、城星学園中学校高等学校
兵庫県／加東市退職女子教職員の会、ナマステ会、神戸市シルバーカレッジ、加東市連合婦人会、ろうきん友の会、神戸常盤短期大学、高砂青松ロータリークラブ、阿弥陀小学校、こうべ小学校、のぞみ保育園、関西学院大学教育学部、神戸常盤大学、明石城西高等学校、加古川西高校、神戸親和女子大学、関西学院高等部、芦屋ロータリークラブ、北淡中学校、志筑小学校、但馬農業高校
愛媛県／松山市立中島中学校
＜敬称略＞

講演・交流会等の参加者数	
研修生来日報告会	60
研修生帰国報告会	70
交流会	1477
東日本研修旅行交流会	259
西日本研修旅行交流会	365
講義・講演	2282
合計	4513

◆ スタディツアー ◆

今年度は 2015 年度に地震発生から中止していたネパールへのツアーを再開、続いてミャンマー、インドネシア及びタイへのスタディツアーを実施しました。

訪問国	期間	参加・同行者数
ネパール	2016/7/27 ～ 8/5	6
ミャンマー	2016/8/22 ～ 2016/8/31	4
インドネシア	2016/9/10 ～ 2016/9/18	2
タイ	2017/2/19 ～ 2017/3/1	7

◆ 第 19 期国内研修生 ◆

国内における人材育成を目的として、2016 年度は研修担当と広報・啓発担当の国内研修生をそれぞれ 1 名ずつ受け入れました。



加藤志歩さん
（女性・22 歳　広報・啓発担当）

研修期間：5 月 1 日 ～ 2017 年 3 月 31 日
研修先：ミャンマースタディツアー、東日本研修旅行、西日本研修旅行、釜ヶ崎研修、淡路島研修、こうべ環境未来館、但馬 PHD 指導者会、篠山ナマステ会総会、賀川記念館、寺田まさふみ、加東市連合婦人会、真柴三幸、多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー、神戸常磐大学、コープこうべ、浜地歯科医院
＜敬称略＞

◆ 短期国内研修生 ◆



宮井 彩生さん
（エッセイコンテスト優秀賞受賞者）

PHD 協会主催の国際協力エッセイコンテスト 2016 年の優秀賞受賞者。
短期国内研修生として、2016 年 2 月のタイ・スタディツアーに同行しました。

◆ 学生の受け入れ ◆

国際協力や NGO に対する理解を深めてもらうため、大阪 YMCA の高校生 1 名（櫻井香乃さん）をインターンとして受け入れました。



櫻井　香乃さん

◆ ボランティアとの協働 ◆

PHD の活動に、一年を通してのべ 421 名を超える方々がボランティアとして関わって下さいました。神戸市シルバーカレッジ国際交流友の会やソディといった長年当会の活動を支援してくださる皆さんに加え、神戸大学 ESD コースより学生がボランティアとして活動に参加してくれました。

ボランティア参加者数	
事務作業補助・収集物整理等	226
日本語復習	120
会報発送作業	56
翻訳	5
ソディ例会	7
通訳	7
合計	421

◆ 平成 28 年度外務省委嘱 NGO 相談員 ◆

国際協力分野で経験と実績をもつ日本の NGO が外務省の委嘱で「NGO 相談員」となり、NGO の国際協力活動、NGO の設立、組織の管理・運営など、市民や NGO 関係者からの質問・照会に答える事業を受託しました。国際協力への理解促進のため、国際協力関係のイベント等において相談業務や講演を行う「出張サービス」を実施しました。

平成 28 年度 NGO 相談員実績件数	
相談件数	648
出張サービス	33 兵庫 15 件、大阪 3 件、京都 4 件、奈良 1 件、東京 2 件、愛媛 1 件、愛知 1 件、三重 1 件、長野 1 件、山梨 1 件、鹿児島 2 件、大分 1 件

◆ 他団体との協働 ◆

他の国際協力・交流団体等との共催行事の実施、運営参加を通して、協働および情報交換を行いました。また、イベント等にも参加し、PHD の活動を幅広く紹介しました。

＜共催・参加イベントなど＞
アーユス合宿、多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー実行委員会、熊本地震被災地支援街頭募金共同実施、ナマステ会総会、CS ネットワークフォーラム運営委員会、“ネパール大地震復興支援チームひょうご（仮称）”の設立・被災地調査・支援報告会、NPO/NGO の組織基盤強化のためのワークショップ、神戸 NGO 協議会、NGO ― JICA 協議会 CDN 会議、市民活動センター神戸総会、神戸市シルバーカレッジ　ジョイラックデー　バザー、スタディツアー合同説明会、NGO 相談員連絡会議、NGO-JICA 協議会、神戸市民活動協議会（HYOGON）総会、関西 NGO 協議会理事会、在関西 NGO と JICA との意見交換会、JICA セミナー会議、多文化共生のための開発教育セミナー会議、生活協同組合コープこうべ　平和の集い、NGO 相談員近畿ブロック会議、多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー、関西 NGO 大学運営委員会、NGO-JICA 協議会　コーディネーター会議、小野まつり、JICA 関西・PCD 研修選考会、JANIC NGO 組織強化の知恵セミナー、第 1 回実践研究集会 in ESD ウィーク、神戸 YMCA 国際協力委員会、グローバルフェスタ、神戸市シルバーカレッジ　学園祭、ネパール大地震復興支援チームひょうご被災地調査・支援報告会、アーユス組織強化ワークショップ、NPO･NGO 合同就職説明会ワーキンググループ、兵庫県税額控除検討会、31 回地域農政フォーラム、NGO 大学、NGO 相談員会議 in 岡山、寄付月間記念ファンドレイジング大会 in 大阪、兵庫県ユニセフ協会評議会、神戸 YWCA 国際協力基金街頭募金、ワンワールドフェスティバル for ユース、生田神社節分祭、JICA 合同 CDN 会議

＜運営＞
神戸 NGO 協議会（運営委員）、関西 NGO 協議会（理事）、コープともしびボランティア振興財団（理事）、神戸市地球環境市民会議（委員）、兵庫県ユニセフ協会（評議員）、NGO-JICA 定期協議会（コーディネーター）、神戸 YMCA 国際委員会（委員）、多文化共生のための国際理解教育･開発教育セミナー（実行委員）、ワンワールドフェスティバル for Youth ～高校生のための国際交流･国際協力 EXPO（監事）、兵庫県国際交流同志の会（幹事）
＜敬称略＞



4 月 24 日　熊本地震被災地支援街頭募金

◆ 啓発事業促進物の製作・販売 ◆

タイ・カレンの手織り布製品とネパールの手編み毛糸製品等を、研修旅行先での交流会と県内のバザー等で販売しました。

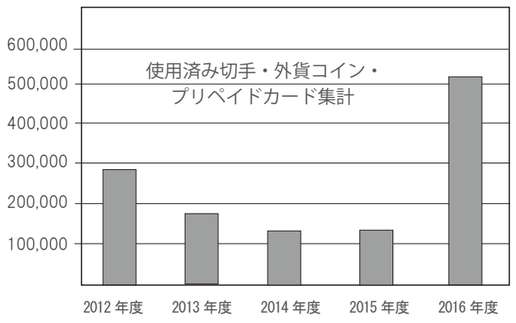
＜販売・委託・出店先＞
東京都／ロータリー米山記念奨学会
神奈川県／ロータリー米山記念奨学会
山梨県／福島幸子（販売・委託）、山梨 YMCA グループ交流会
長野県／松本教会交流会
岐阜県／中濃教会交流会、国際ソロプチミストかかみ野
愛知県／想念寺、小牧幼稚園
京都府／福知山淑徳高校（販売・委託）
大阪府／姫松教会、ワンワールドフェスティバル for ユース
兵庫県／神戸市シルバーカレッジ ジョイラックデー、第 13 回多文化共生のための国際理解教育開発教育セミナー、神戸市シルバーカレッジ 学園祭、ロータリー第 2680 地区大会、国際ソロプチミスト姫路西 チャリティバザー、国際ソロプチミスト神戸 チャリティバザー、コープ平和のつどい、コープ地球のステージ、篠山ロータリークラブ クリスマス例会、淡路市国際交流協会（販売・委託）、第 34 期研修生帰国報告会、コープ加西、加東市連合婦人会、加東退職女子教職員の会
岡山県／あわくら温泉 元湯（販売・委託）、赤磐交流会
山口県／梅光学院中学校・高等学校 、岩国みなみワイズメンズクラブ
広島県／共生庵、PHD 灰塚交流会
福岡県／内山信子（販売・委託）、北九州市祝町交流会
鹿児島県／かごしま有機生産組合「地球畑」（販売・委託）、蕨島交流会、だるま保育園
長崎県／ prawmai（販売・委託）
福岡県／北九州市祝町交流会

＜敬称略＞

◆ 書き損じハガキ等の収集 ◆

2016 年度もご協力いただいた収集物の換金・相当額は 90 万円を上回りました。今年度より外貨紙幣は日本円に交換させていただきました。

収集物の相当額・換金額集計	
書き損じ及び未使用ハガキ	199,184 円
未使用切手	196,285 円
外貨コイン・使用済み切手	367,268 円
未使用テレホンカード	149,500 円
合計	912,237 円



◆ 国際協力エッセイコンテスト 2016 ◆

「国際協力の担い手育成」と「NGO 相談員事業の広報」という二つの目的を掲げ実施しました。11 月には有識者による審査会を実施し、下記 5 作品を選定。またワンワールドフェスティバル for youth にて「企画エッセイコンテスト受賞作発表＆国際協力を仕事にしよう！」を実施し、各受賞者が報告を行いました。2 月には優秀賞受賞者の宮井さんにタイ・スタディツアーに参加してもらいました。



最優秀賞
北九州市立大学　**中原 亮さん**
タイトル
「国境線を超える未来へ」



優秀賞
関西学院大学　本田 彩葉さん
近畿大学　宮井 彩生さん

奨励賞
上智大学　小島 彩さん
神戸大学大学院　後藤 聡美さん
和歌山大学　濱田 遥さん
関西大学　中山 晴貴さん

◆ 会員数 ◆

会員数は下記の通り、終身維持会員、友の会員を含めて 909 人という会員数となりました。今後は、継続したご支援、新たな方からのご支援を得る活動を、PHD の実体にそくして展開してまいります。また、新たに法人会員制度を設けて、関係する法人を中心に会員の募集を開始しました。

	新規会員数（目標）	新規会員数（実績）	2016 年度末現在の会員数
終身維持会員	3	4	187
PHD 会員	15	15	528
友の会会員	10	16	192
法人会員		2	2
合　計	33	34	909

国際ソロプチミスト神戸様と生活協同組合コープこうべ様が、 今年度より新設の法人会員制度に加入いただきました。

国際ソロプチミスト神戸 様　　生活協同組合コープこうべ 様

助成及び賞歴

◆ 助成金事業 ◆

平成 28 年度「NGO 補助金事業」
NGO の事業実施能力や専門性の向上のため、NGO の事業促進に資する活動を支援する「国際開発協力関係民間公益団体補助金（NGO 補助金）」を外務省国際協力局民間援助連携室から頂き、研修事業を行いました。

「愛のカンパ　中央助成」日本労働組合総連合会（連合）
人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、NGO などの事業の支援を目的としており、研修事業へのご支援をいただきました。

アジア生協協力基金

「国際協力・交流事業」神戸国際協力交流センター（KIC）

◆ 受賞歴 ◆

1981　岩村先生、第1回ロータリー国際理解と平和賞受賞
1982　神戸新聞平和賞
　　兵庫県社会賞
1988　国際交流基金、地域交流振興賞
1990　神戸国際交流賞
1991　毎日国際交流賞
1993　岩村先生、マグサイサイ賞受賞
1995　第4回環境水俣賞受賞
1996　外務大臣賞受賞
1997　今井理事長、兵庫県功労者表彰
2001　神戸新聞社社会賞
2011　井植文化賞
2013　かめのり賞
2014　神戸キワニスクラブ社会貢献賞

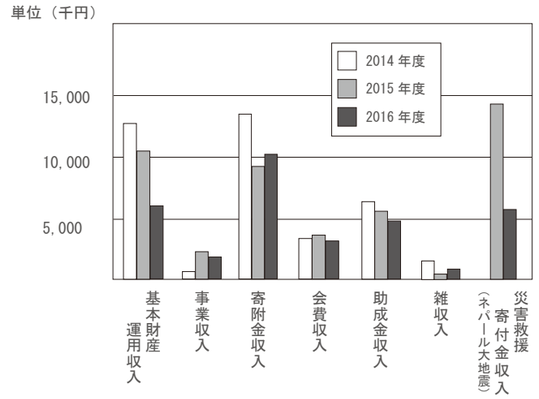
2016 年度決算

◆ 正味財産増減計算書 ◆

自 2016 年 4 月 1 日・至 2017 年 3 月 31 日（単位：円）

経常収入		経常支出	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	5,874,621	研修事業費	21,203,161
特定資産運用収入	179,820	啓発事業費	17,778,972
事業収入	2,274,192	管理費	4,040,823
寄附収入	10,395,729		
会費収入	3,143,000		
助成金収入	4,916,646		
受取利息・配当金	255		
災害救援寄付金収入	5,731,079		
雑収入	750,217		
経常収益計	33,265,559	経常費用計	43,022,956

◆ 過去 3 年間収入比較 ◆



◆ 貸借対照表 ◆

2017 年 3 月 31 日現在　（単位：円）

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	10,520,321	流動負債	2,120,870
固定資産	302,684,320	固定負債	1,419,705
（うち基本財産として 275,000,000）		正味財産	309,664,066
	313,204,641		313,204,641

役員（2016 年度）

■ 理事会

理事長	水野 雄二	（社福）神戸聖隷福祉事業団　理事長
理　事	太田 貞夫	（株）神戸新聞社　姫路支社　支社長
理　事	米谷　収	ライスヴァレー A.C.　代表
理　事	水口 典久	兵庫県産業労働部　国際局長
理　事	橋本 一豊	（株）神戸マツダ　代表取締役会長
理　事	山村　昭	神戸市市長室　国際部　部長
理　事	安平 和彦	はりま法律事務所　弁護士
理　事	滝澤 功治	神戸海都法律事務所　弁護士
理　事	中村 尚義	（株）淡路第一商事　代表取締役
監　事	後藤 玲子	後藤玲子法律事務所　弁護士
監　事	山添 令子	生活協同組合コープこうべ 常勤理事

■ 評議員会

寒者 恵	元三木市職員　保健師
渋谷 冨喜男	兵庫県有機農業研究会　元会長
杉原 一三	篠山ナマステ会　幹事
向井 菊美	国際ロータリー第 2680 地区
前田 靖文	国際ロータリー第 2680 地区
納堂 邦弘	内子町地域おこし協力隊員
寺内 真子	神戸 YWCA 総幹事
井上 真二	神戸 YMCA 総主事

■ 運営協力委員

西岡　強	兵庫県町村会　事務局長
後藤　象三	（一社）兵庫県医師会　事務局長
戎　繁樹	（一社）兵庫県歯科医師会　総務部 総務企画課課長
堅田　博行	（一社）兵庫県薬剤師会　事務局長
隅田　昇次	（社福）兵庫県社会福祉協議会 事務局長
小林　武	（公財）兵庫県老人クラブ連合会 専務理事兼事務局長
市場　八重子	（一社）ガールスカウト兵庫県連盟 書記
清水　勲夫	兵庫県青少年団体連絡協議会　副会長
平岡　靖敏	神戸商工会議所　理事・産業部長
山下　晃	（一社）神戸銀行協会　専務理事
大西　巧	（一社）兵庫県信用金庫協会　常務理事
伊勢田　佳博	（一社）兵庫県信用組合協会　常務理事兼事務局長
石田　恭一	（一社）兵庫県建設業協会　専務理事
塩谷　元宏	兵庫県森林組合連合会　専務理事
突々　淳	兵庫県漁業協同組合連合会　専務理事
松本　竜悟	（公社）日本青年会議所近畿地区　会長
濱崎　加代子	神戸キワニスクラブ　福祉広報委員長
伴　忠道	青年海外協力隊兵庫県 OB 会
橋本　浩嗣	兵庫県連合自治会　事務局長
大家　重明	兵庫県青年洋上大学同窓会　会長
稲岡　健	兵庫県小学校長会　理事
川島　隆司	兵庫県中学校長会　会長
安本　直	兵庫県立高等学校長協会　会長
阪田　芳昭	（一社）兵庫県私学総連合会　事務局長
西海　恵都子	（株）神戸新聞社　編集局次長
奥田　京子	国際ソロプチミスト神戸　会長
神吉　泰彦	高砂に PHD 研修生を迎える会
北野　美智子	兵庫県連合婦人会　会長
森口　育子	兵庫県立大学　名誉教授
西村　早百合	GROUP TAYTAY
猶原　信男	ミャンマー関西　代表

事務局・スタッフ（2017.3.31 現在）

■ 事務局



主任主事 / 事務局長
坂西　卓郎



主事補 / 総務・財務担当
上石　景子



主事 / 研修担当
今里　拓哉



主事補 / 広報・啓発担当
八木　純二

2017 年度　新職員
研修担当　前田　千春
2016 年度　4 月退職　田尻　亜紀（嘱託職員）



嘱託職員
古寺　瑞代



嘱託職員
中西　美樹



事務局インターン
ジェニィ・マパ



事務局ボランティア
矢萩　雅一郎

■ 現地スタッフ

ミャンマー



スーパーバイザー
トゥントゥン
1994 年度第 12 期生



モーママ
2013 年度第 31 期生



サンティダエー
2015 年度第 33 期生

ネパール



ランマヤ・タマン
2012 年度第 30 期生



ムク・マヤ・タマン
2014 年度第 32 期生



カンチ・マヤ・タマン
2015 年度第 33 期生

インドネシア

ダスウィル
1999 年度第 17 期生

アフダール
2000 年度第 18 期生



アルウィ・フィドリ
2001 年度第 19 期生



アフリタ
2004 年度第 22 期生



マスラル・アリゾン
2005 年度第 23 期生



ダリスマン
2013 年度第 31 期生

2016 年度　会費納入者名簿　（2016.4.1 から 2017.3.31 まで）

個人情報保護のため氏名は掲載しておりません。
ご了承ください。

PHD へのご寄附及び会費は、免税・減税の対象となります

PHD へのご寄附及び会費は、税額控除もしくは所得控除の適応を受けることができます。

＜例えば 20,000 円の寄附をして、確定申告をすると＞

◆税額控除の場合

（20,000 円－ 2,000 円） × 40%＝ 7,200 円[*1] が還付されます。

[*1] 所得税額の 25%に相当する金額を限度とします。

◆所得控除の場合

20,000 円[*2] － 2000 円＝ 18,000 円が所得金額から引かれます。

[*2] 所得金額の 40%を限度とします。

（詳しくは国税庁のホームページをご覧下さい）

PHD 会員制度のご案内

PHD 運動は会員の皆様によって支えられ、
すすめられています。
継続したご支援をよろしくお願いいたします。

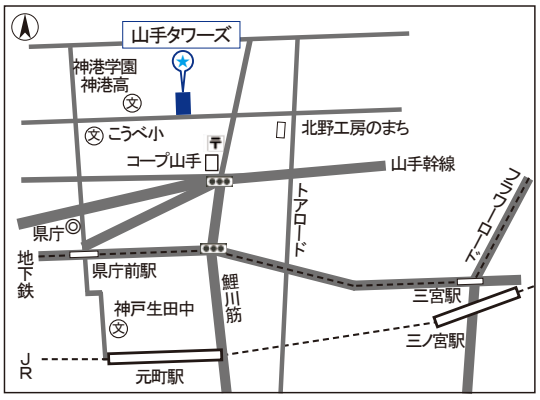
PHD 終身維持会員	1口	10 万円（任意の口数）
PHD 会員	年額1口	5 千円（任意の口数）
PHD 友の会会員	年額	千円以上（任意の額）
PHD 法人会員	年額1口	2 万円、3 万円、 5 万円、10 万円 （上記金額より任意の口数）

会員の皆さまには、会報「PHD LETTER」、年度事業報告をお届けします。

お振込み先

◆ゆうちょ銀行
口座番号：01110-6-29688
口 座 名：公益財団法人 PHD 協会

◆三井住友銀行
神戸営業部（500）
口　　座：普通　3210568
口 座 名：公益財団法人 PHD 協会



公益財団法人　PHD 協会
〒 650-0003　神戸市中央区山本通 4-2-12　山手タワーズ 601
TEL 078-414-7750　FAX 078-414-7611

2017.7.1700